

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【公開番号】特開2006-180937(P2006-180937A)
 【公開日】平成18年7月13日(2006.7.13)
 【年通号数】公開・登録公報2006-027
 【出願番号】特願2004-374973(P2004-374973)
 【国際特許分類】

A 4 7 L 9/10 (2006.01)
A 4 7 L 9/16 (2006.01)
B 0 3 C 3/40 (2006.01)
B 0 3 C 3/41 (2006.01)
B 0 3 C 3/82 (2006.01)
B 0 4 C 9/00 (2006.01)
B 0 3 C 3/15 (2006.01)
B 0 3 C 3/155 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/10 E
 A 4 7 L 9/16
 B 0 3 C 3/40 A
 B 0 3 C 3/41 B
 B 0 3 C 3/82
 B 0 4 C 9/00
 B 0 3 C 3/14 D
 B 0 3 C 3/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月17日(2007.4.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

塵埃を吸い込む吸引口と、吸気を発生させる電動送風機と、前記吸引口から該電動送風機に連通する吸引経路と、該電動送風機から外部への排気経路と、前記吸引経路に設けられ、塵埃を捕集する塵埃捕集手段とを備える電気掃除機において、

前記塵埃捕集手段は、クーロン力作用による電気集塵手段と、遠心力作用による遠心力集塵手段とを備えることを特徴とする電気掃除機。

【請求項2】

塵埃を吸い込む吸引口と、吸気を発生させる電動送風機と、前記吸引口から該電動送風機に連通する吸引経路と、該電動送風機から外部への排気経路と、前記吸引経路に設けられ、塵埃を捕集する第1塵埃捕集手段及び第2塵埃捕集手段とを備える電気掃除機において、

前記第2塵埃捕集手段は、クーロン力作用による電気集塵手段と、遠心力作用による遠心力集塵手段とを備えることを特徴とする電気掃除機。

【請求項3】

前記遠心力集塵手段は、サイクロン集塵部であり、前記電気集塵手段は、塵埃を帯電さ

せる塵埃帯電部と帯電した塵埃を集塵する集塵電極とを複数備えた構成である請求項 1 又は 2 記載の電気掃除機。

【請求項 4】

前記遠心力集塵手段は、サイクロン集塵部であり、前記電気集塵手段は、塵埃を帯電させる塵埃帯電部を備え、前記サイクロン集塵部内の吸引経路の一部は接地、又は前記塵埃帯電部で帯電した塵埃と逆極性の電圧が印加される構成である請求項 1 又は 2 記載の電気掃除機。

【請求項 5】

前記吸引経路の一部を構成し、前記電気集塵手段と遠心力集塵手段との一部又は全部を格納する容器を備えることを特徴とする請求項 1 記載の電気掃除機。

【請求項 6】

前記遠心力集塵手段は、サイクロン集塵部であり、前記電気集塵手段は、サイクロン集塵部内の吸引経路に設けられた高電圧電極と接地電極とを備えていることを特徴とする請求項 1 記載の電気掃除機。